

夏季集中講座カリキュラムと授業進行について

日程	1 限目 9:00~10:30	2 限目 10:45~12:15	3 限目 13:00~14:30	4 限目 14:45~16:15	対象学年
8月28日(月)	物理・分析 【篠倉講師】	物理・分析 【篠倉講師】	物理・分析 【篠倉講師】	物理・分析 【篠倉講師】	1,2,3,4年
8月29日(火)	物理・分析 【篠倉講師】	物理・分析 【篠倉講師】	有機 【熊講師】	有機 【熊講師】	1,2,3,4年
8月30日(水)	衛生 【篠倉講師】	衛生 【篠倉講師】	衛生 【篠倉講師】	衛生 【篠倉講師】	2,3,4年
8月31日(木)	衛生 【篠倉講師】	衛生 【篠倉講師】	放射 【篠倉講師】	放射 【篠倉講師】	2,3,4年
9月4日(月)	有機 【熊講師】	有機 【熊講師】	分析 【熊講師】	分析 【熊講師】	1,2,3,4年
9月5日(火)	生物・薬理 【熊講師】	生物・薬理 【熊講師】	生物・薬理 【熊講師】	生物・薬理 【熊講師】	2,3,4年
9月6日(水)	生物・薬理 【熊講師】	生物・薬理 【熊講師】	生物・薬理 【熊講師】	生物・薬理 【熊講師】	2,3,4年

物理分析	物理・分析の範囲は、pH 関連項目と反応速度論を中心に授業を進めていきます。特に、反応速度論は、薬物動態の計算の基礎となっていますので、薬物動態の計算がスムーズにマスターできるように、この夏休みを活かして基礎固めを行っておきましょう。
衛生	衛生は単なる暗記と思われがちですが、基礎知識を使って1つのことからいくつかの知識をリンクして効率的に知識を増やしていくことができるように授業を進めていきます。今回の授業では衛生と薬物動態 (ADME) の代謝の範囲をコネクティングして使える知識の構築を図りましょう。
放射	放射の範囲は、2 コマで放射様式から放射線の性質、計算まで図や絵を使いながら目に見える化して学んでいきます。薬学部における放射は社会情勢から考えても必要不可欠な範囲となっておりますが、楽しく学んで得点化できるように授業を進めていく予定です。
有機	芳香族化合物の性質を踏まえたうえで、有機化学の基礎的な反応を考え理解できるように授業を進めていきます。反応の性質を理解したうえでさらに応用力を付けるための布石とします。カルボニルの反応は出題範囲も広いので念入りに授業します。
分析	本講座の有機化学の内容との関連性を踏まえ、定性分析において必要な反応一覧を系統的に学んでいきます。覚えるべき項目と考えるべき項目のハイブリッドな講義を実施します。
生物薬理	機能形態学では自律神経、血液系を総合的に授業していきます。機能形態の知識を薬理学にコネクティングしながら、予習的要素も踏まえて楽しく学べます。



夏季集中講座カリキュラムと授業進行について

8月28日 (月)	物理分析	<ul style="list-style-type: none"> ・酸、塩基と pH モル分率曲線 ・ヘンダーソン式について ・緩衝液について ・溶解度、溶解度積 ・反応速度と速度定数 ・懸濁剤の分解反応 ・イオン強度
8月29日 (火)	有機	<ul style="list-style-type: none"> ・芳香族性の共鳴、安定性 シクロヘキサンの配座と安定性 ・基本的な化学反応（置換：S_N1、S_N2、S_E）
8月30日 (水)	衛生	<ul style="list-style-type: none"> ・吸収、分布、代謝、排泄について ・化学物質の代謝（第一相反応、第二相反応）、代謝酵素の変動要因 ・有害有機物質（農薬、ダイオキシンなど） ・有害無機物質（水銀、ヒ素、カドミウムなど）
8月31日 (木)	衛生 放射	<ul style="list-style-type: none"> ・食品の変質と保存法 ・タンパク質の栄養的な価値、アミノ酸スコア、食品成分について ・放射能と放射線、壊変様式、放射能の単位と計算、半減期と計算 ・放射線の種類と性質、放射線と物質の相互作用、放射平衡
9月4日 (月)	有機分析	<ul style="list-style-type: none"> ・脱離反応、付加反応 ・カルボン酸誘導体と反応性/安定性 ・化合物の定性反応、確認試験
9月5日 (火)	生物 薬理	<ul style="list-style-type: none"> ・自律神経の機能形態 ・交感神経、副交感神経、拮抗二重支配 ・交感神経系刺激薬/遮断薬 ・副交感神経系刺激薬/遮断薬
9月6日 (水)	生物 薬理	<ul style="list-style-type: none"> ・血液系機能形態 ・造血薬、血小板凝集抑制薬 ・抗凝血薬、止血薬

